


令和2年度 文化観光部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
文化観光部長 頓宮 忍	<p>●使命</p> <p>私たち文化観光部は、古くから継承されてきた歴史遺産や伝統文化を保護、保存、活用し、まちの個性を形づくる伝統文化や文化財を次世代に継承します。また、歴史、文化に触れる機会や多様な文化活動の機会を設けることにより、人と文化の交流による豊かな文化の創造を進めます。また、自然や景観、歴史遺産、伝統文化などの観光資源を活用し、情報発信事業を推進することにより、市の魅力を広く内外に発信し、交流人口の増加を図るとともに、地域の賑わいを創出します。</p> <p>●基本方針</p> <p>①文化財の調査等による保護、保存を推進し、併せて情報発信による文化財等の活用を進めます。</p> <p>②市民の文化活動を支援するとともに、博物館、美術館をはじめ、優れた芸術文化に触れる機会を提供します。</p> <p>③情報発信事業を継続することにより、観光客の誘致を促進し、市の知名度向上を図ります。</p> <p>④インバウンド対策に取り組み、訪日外国人旅行客の誘致を図ります。</p>	所管課	文化観光課		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
		16 人	8 人	24 人	
	一般会計	609,471 (うち繰越明許 13,090) 千円			
	特別会計	千円			
	計	609,471 (うち繰越明許 13,090) 千円			
	(うち人件費)	(127,218 千円) (うち会計年度任用職員 24,359 千円) (そのうち地域おこし協力隊 3,601 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
1 文化財の調査等による保護、保存及び情報発信による文化財等の活用	<p>本市における文化財の保存活用に関する基本的な方針となる文化財保存活用地域計画策定(令和2年度～令和4年度)に向けた取組を進めます。</p> <p>また、民間と連携し、日本刀や須恵器など地域の特徴的な歴史文化資源を活用した地域活性化を図る取組を進めます。</p>	<p>計画策定のための協議会を設立し、本市が有する未指定を含めた文化財の洗い出しを行います。</p> <p>目標:文化財基礎リスト作成</p> <p>民間と連携し、地域の特徴的な歴史文化資源の情報発信や価値向上の取組を行います。</p> <p>目標:webサイト、SNSの閲覧件数 2,000件 ブランディングした商品数 1商品</p>	<p>計画策定支援業務受託者が入札により決定し、文献から市内の指定・未指定の文化財のリスト作成を進めています。また、協議会の設置要綱を定め、委員の人選を進めています。</p> <p>日本刀の活用に関しては、山鳥毛のパンフレットを大人用10000部、子供用5000部を作成し、山鳥毛特別陳列において配布するとともに、市内の小中学校に送付しました。</p> <p>須恵器に関しては、寒風陶芸会館において、現在webサイトの立ち上げやブランディング商品の開発に取り組んでいます。</p>	<p>第1回策定協議会を開催し、計画の方向等について協議を行いました。</p> <p>文献調査や文化財基礎リストの作成は継続して進めています。</p> <p>秋の山鳥毛特別陳列で配布したパンフレットにおいて、備前刀の歴史や価値を、市内外の多くの方に発信することができました。</p> <p>須恵器に関しては、webサイトを2月に立ち上げ、配信を始めます。また、古代須恵器の復元に取り組んでおり、今後プロモーション活動を行っていきます。</p>	<p>協議会を年2回開催し、計画策定に向けた協議を行うことにより、計画策定の基礎資料となる文献リスト、文化財リストを作成しました。</p> <p>また、市民ワークショップを2回開催し、計画策定の周知及び市民意見の聴取を行いました。</p> <p>民間と連携し次の事業を実施しました。</p> <p>① 日本刀では、パンフレット及び動画を作成して情報発信ができました。</p> <p>動画再生回数 1801回</p> <p>② 須恵器では、webサイトを立ち上げ、英語版パンフレットデータを作成し、情報発信を行いました。また「寒風須恵器」のロゴ作成及び商標登録を行い、商品価値の向上を図りました。</p> <p>web サイト閲覧数 1936回 ブランディングした商品数 1点</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	市民の文化活動の支援及び優れた芸術文化に触れる機会の提供	<p>民間団体等が実施する音楽を軸とした多種多様な分野でのコンサート等を支援し、プロ団体や学生、また市民参加など音楽文化芸術にふれあえる機会を創出します。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響あり</p>	<p>左記、音楽コンサート等を企画・計画している市民団体等に向け補助金を交付することにより、その活動を支援します。</p> <p>目標：市民が音楽文化芸術活動に参加した数 2,000人</p>	<p>和太鼓や合唱コンサート等を企画実施している団体に対し、補助金を交付し、各事業が実施されています。新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえ、多数の参加があり、また11月・12月の事業実施に向け、準備調整をしています。</p> <p>9月末参加人数 200人</p>	<p>民間団体の活動支援として、11月に実施された和太鼓を中心とした山鳥毛里帰りコンサートや12月に実施されたプロアマ共演によるベートーヴェン交響曲第9番のコンサートなどの事業に対し補助金を交付し、支援しました。</p> <p>委託事業として、市内全保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校の児童・生徒にプロによる質の高い演奏等を提供し、文化芸術の素晴らしさを体感していただきました。また第4回夢二コンクールを開催し、全国から多数の音楽者が参加されたことにより、市の文化芸術の振興と併せて知名度の向上を図ることができました。</p> <p>1月末参加人数2,000人 児童生徒2,000人</p>	<p>1月末までに実施された各事業に加え、民間団体の活動支援として、3月に実施されたミュージカル(2回公演)及びブチバレエコンサートに対し支援を行いました。</p> <p>市民団体等が実施する質の高い文化活動に対し、補助金の交付やその他の側面的支援により、年間を通じて多くの事業が実施され、市民が優れた文化芸術に触れる機会の創出につなげることができました。</p> <p>年間総参加人数 計2,400人</p>

<p>備前長船刀剣博物館において、特別展やテーマ展を計画・実行し、刀剣文化の魅力を広げていきます。また、山鳥毛里づくりプロジェクトに基づいた取組を行います。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響あり</p>	<p>特別展2回、テーマ展3回を開催します。また、国宝「山鳥毛」の特別陳列を行います。改修工事中は、研修棟や工房で日本刀に関わる職人をテーマにした取組を行います。</p> <p>目標入館者数:42,000人/年</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により4/20～5/20まで臨時休館しました。このため、特別展が中止となり、展示計画を見直しました。現在まで、テーマ展3回を開催し、秋季テーマ展に合わせて「山鳥毛」の特別陳列を行いました。なお、9/10より感染症防止対策のため、来館者予約システムによる入館者制限を実施しています。</p> <p>入館者数(9月末) 11,644人</p>	<p>現在までテーマ展4回を開催しました。秋季テーマ展(山鳥毛特別陳列)ではキャプション等展示手法を工夫し、来館者から高い評価を得ました。改修工事にあたり、10/5～22まで休館し、10/23から里の工房等を活用し、刀職をテーマにテーマ展を開催しています(館は工事のため休館)。</p> <p>入館者数(1月末) 15,675人</p>	<p>年間で、テーマ展4回を開催しました。館の改修工事期間中は、研修館と工房を展示室に利用し、刀職をテーマに工夫した展示会を開催しました。改修工事については、3月23日に完了しました。新型コロナウイルス感染症の影響で入館者数は大きく減少しましたが、刀剣文化の振興や情報発信ができました。</p> <p>入館者数 17,430人</p>
<p>瀬戸内市立美術館の魅力向上や新たな来館者層を増やすため、魅力ある特別展や企画展を開催します。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響あり</p>	<p>特別展2回、企画展5回を開催します。企画展では児童生徒の作品展を開催するなど美術を身近に感じる取組も行います。</p> <p>目標入館者数 美術館：20,000人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により4/20～5/20まで臨時休館しました。このため、展示計画を見直しました。また、イベントは中止しています。現在まで、特別展1回、企画展3回を開催しました。</p> <p>入館者数(9月末) 3,602人</p>	<p>現在まで特別展2回、企画展4回を開催しました。特別展「野田弘志展」では、同時期に同じテーマで開催している岡山市のシティーミュージアムと連携し、来館者が両館を訪れるような工夫を行いました。</p> <p>入館者数(1月末) 9,750人</p>	<p>年間で、特別展2回、企画展5回を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で入館者数は大きく減少しましたが、地域の芸術文化の振興を図ることができました。</p> <p>入館者数 11,383人</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3 情報発信事業の継続による観光客の誘客と市の知名度の向上	観光資源の掘り起こしや磨き上げを行い、時節を捉えた効果的な情報発信に取り組むことで、新型コロナウイルス感染症収束後の国内観光客の誘客と市の知名度向上を図ります。	<p>「瀬戸内海」や「日本刀」などの既存観光資源の磨き上げや新たな観光資源の掘り起こしを実施します。また、メディア等を活用した観光情報の発信を強化するため、最も効果的なタイミングで観光プロモーション事業を実施することで、市の知名度を高め、国内からの誘客の促進を図ります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症収束後の目標入込客数 95,000人／月</p>	<p>新型コロナによる観光関連事業者への影響を鑑み、事業者支援の一環として「宿泊キャンペーン」や「プレミアム付電子旅行商品券事業」を行うなかで、適宜、関西圏や県内向けのメディア等を活用した情報発信を行っており、誘客回復に向けて取り組んでいます。</p> <p>入込客数 (R2.9実績) 65,138人／月</p>	<p>新型コロナの再流行によって積極的な誘客事業の推進が困難となったことから、将来のプロモーション活動に備えた動画の制作やホームページの充実等に取り組んでおり、アフターコロナを意識した準備を行っています。</p> <p>入込客数 (R2.12実績) 60,996人／月</p>	<p>新型コロナの流行下におけるプロモーションとして、オンラインでのプロモーション活動を充実させるための整備を実施し、観光ホームページの全面改装の完了公開と、市内観光資源を伝える動画について制作公開しました。</p> <p>新型コロナの影響により、直接的に誘客促進を図る事業は実施できませんでしたが、ウイズコロナ、アフターコロナを意識した事業を実施するための準備を整えることができました。</p> <p>(R2年度実績) 58,551人／月</p>

4	インバウンド対策による訪日外国人旅行客の誘客	新型コロナウイルス感染症収束後に向け、インバウンド向けの旅行商品の開発や磨き上げを行い、新たな旅行商品販売の準備に取り組むことで、訪日需要回復後の外国人旅行客の誘客を図ります。	吉井川流域DMOや近隣自治体と連携し、インバウンド向けの旅行商品の開発や磨き上げを行います。 新たに開発したインバウンド向け旅行商品数 2商品	日本旅行等と連携し、観光庁の誘客多角化事業に応募し、採択を受けたところであり、「日本刀の聖地・長船」を軸に、当市の強みを生かした将来のインバウンド誘客に向けたコンテンツ整備を計画しています。	新型コロナの再流行によって、当面の間インバウンド誘客の目途が立たないことから、オンラインによるプロモーションを意識し、状況に応じた対応に努めています。また、富裕層向けの旅行商品など将来インバウンド向けにも転用できる商品開発の検討を進めています。	観光庁の誘客多角化事業において、日本刀の聖地・長船の訴求力を高めるオンラインプロモーションを実施し、日本刀の制作と工程を追った多言語化した動画の公開、またオンラインツアーを実施し多くの視聴者を集めることができました。新型コロナの影響により、インバウンド向け旅行商品の商品化は実現できませんでしたが、インバウンドの再開に向けた情報提供等の取組を進めることができました。
---	------------------------	--	---	---	--	---